

## 2021年度

1. 科目名(単位数)	障害児療育 (2単位)	3. 科目番号	SSMP2341 SNMP2341 SCMP2341 SBMP2341 SPMP2341 SJMP2119						
2. 授業担当教員	立松 英子								
4. 授業形態	講義、DVD視聴、演習	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	<p>「療育」という用語は、狭義には障害の早期発見から就学までの取り組みの意味で使われ、広義には成人の生活支援も含み、医療・福祉・教育にまたがる分野で使われている。近年、明確な診断のない「気になる」子どもや被虐待児もその対象となり、ノーマライゼーションの理念の理解とともに発達や障害についての幅広い知識が必要となるばかりか、親支援や地域の子育て支援も保育士の重要な役割となっている。</p> <p>本科目では、知的障害、肢体不自由、視覚障害や聴覚障害、自閉スペクトラム症を含む発達障害や、診断はないが「気になる」子どもを対象に、年齢は乳幼児から成人まで、場所は一般の保育所のみならず、病院内保育、施設内保育等、幅広い視野で「療育」を捉え、保育士としての専門性を培う。</p>								
8. 学習目標	<p>インクルーシブ保育の場では、障害のある子どもやその子を支える家族の生活・心情をふまえた支援とともに、障害のない子どもへの配慮や共生社会の形成を念頭に教育もできるようになる。また、専門機関においても、医療・福祉と連携しながら保育士としての専門性を発揮して、適切な支援ができるようになる。</p> <p>① 幅広い対象、場、形態に及ぶ「療育」の理念や概念について知る。 ② 障害に関する医療・社会福祉・教育の制度についての基礎知識が身に付く。 ③ 障害のある子どものいる家族の生活や心情について共感できるようになる。 ④ 定型発達についての基礎知識を基盤に、障害のある子どもの育ちに見通しをつけられるようになる。 ⑤ 様々な専門家の役割を知って、障害のある子どもや保護者を中心とした連携・協働ができるようになる。</p>								
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート課題：与えられた事例について、書式にしたがってレポートしてください。</li> <li>・小テスト：用語の理解について小テストを実施します。</li> <li>・期末レポート課題：事例についての論文課題：「あなたが考えるよりよい療育実践について、事例にもとづいて論説しなさい」本課題により、障害児保育の理論と実践がどこまで身に付いたか確認します。</li> </ul>								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 小林保子・立松英子共著『保育者のための「障害児療育」-理論と実践をつなぐ-』改訂2版、学術出版会、2017</p> <p>【参考書】 厚生労働省 『保育所保育指針解説』（平成30年2月）厚生労働省 2018 その他、実践場面のDVDや関連ウェブサイトを授業で紹介します。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害児者に関する自分なりの課題意識をもち、最新の理念を積極的に学んだか。</li> <li>2. 本人や家族への支援について正しい知識を身につけたか。</li> <li>3. 定型発達の順序性について理解し、実践場面で応用できるようになったか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>以下を総合的に検討し、判断する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業態度</td> <td>総合点の40%</td> </tr> <tr> <td>2 小テスト</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>3 課題レポート</td> <td>総合点の40%</td> </tr> </table> <p>*なお、本学規定の「3/4以上の出席」が単位修得の条件であることも判断規準となる。</p>			1 授業態度	総合点の40%	2 小テスト	総合点の20%	3 課題レポート	総合点の40%
1 授業態度	総合点の40%								
2 小テスト	総合点の20%								
3 課題レポート	総合点の40%								
12. 受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害がある子どもやその家族の理解は、ふれあうこと、接することから始まります。地域のボランティア活動や療育・教育活動に積極的に参加することをお勧めします。</li> <li>・授業中の私語、居眠り、携帯電話の操作、飲食等は禁止します。</li> <li>・休憩時間と授業の区別をしましょう。大学生として節度ある態度で授業に臨んでください。</li> </ul>								
13. オフィスアワー	別途通知する。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	オリエンテーション 障害の理解①	事前学習	教科書第1章(pp.11~23)を読んで、わからない言葉を抽出しておく。						
		事後学習	授業で明らかになった専門用語の意味について学習ノートにまとめておく。						
第2回	障害の理解② 子どもの生活を支える福祉や医療、各種法制度	事前学習	教科書第2章(pp.25~36)を読んで、わからない言葉を抽出しておく。						
		事後学習	授業で明らかになった専門用語の意味について学習ノートにまとめておく。						
第3回	障害のある子の発達	事前学習	教科書第3章(pp.37~46)を読んで、わからない言葉を抽出しておく。						
		事後学習	授業で明らかになった専門用語の意味について学習ノートにまとめておく。						

## 2021 年度

第 4 回	療育期における家庭への子育て支援	事前学習	教科書第 4 章 (pp. 47～58) を読み、親の障害の受容について確認しておく。
		事後学習	親の障害受容とその変遷について重要点を学習ノートにまとめておく
第 5 回	療育の種類、早期療育・相談事業	事前学習	教科書第 5 章 (pp. 59～68) を読んで、インクルーシブ保育から就学までの流れを確認しておく。
		事後学習	療育の種類、早期療育の重要性について自分なりにまとめておく。
第 6 回	地域における専門機関の役割とサービス	事前学習	教科書第 6 章 (pp. 69～76) を読んで、わからない言葉を抽出しておく。
		事後学習	授業で明らかになった専門用語の意味について学習ノートにまとめておく。
第 7 回	発達及び障害に関する用語の理解	事前学習	これまでの学習で分からなかった用語を確認しておく。
		事後学習	小テストに向けて用語の確認をする。
第 8 回	小テスト	事前学習	用語の関連事項について調べ、理解を深めておく。
		事後学習	解答できなかった用語について復習をする。
第 9 回	グループ演習 1, 2 知的障害を伴う子ども保育援助	事前学習	教科書第 9 章 (pp. 111～117) を読んで、わからない言葉を抽出しておく。
		事後学習	授業で明らかになった専門用語の意味について学習ノートにまとめておく。
第 10 回	グループ演習 3, 4 自閉スペクトラム症を伴う子どもと保育援助	事前学習	教科書第 11 章 (pp. 135～144) を読んで、わからない言葉を抽出しておく。
		事後学習	授業で明らかになった専門用語の意味について学習ノートにまとめておく。
第 11 回	グループ演習 5, 6 肢体不自由や重症心身障害を伴う子どもと保育援助	事前学習	教科書第 10 章 (pp. 119～134) を読んで、わからない言葉を抽出しておく。
		事後学習	授業で明らかになった専門用語の意味について学習ノートにまとめておく。
第 12 回	グループ演習 7, 8 視覚障害・聴覚障害を伴う子どもと保育援助	事前学習	視覚障害とは、聴覚障害とは何か事前に調べ、疑問点を明らかにしておく。
		事後学習	授業で明らかになった専門用語の意味について学習ノートにまとめておく。
第 13 回	「気になる子」と保育援助	事前学習	教科書 12 章 (pp. 145～152) を読んで、わからない言葉を抽出しておく。
		事後学習	授業で明らかになった専門用語の意味について学習ノートにまとめておく。
第 14 回	就学への移行と特別支援教育	事前学習	教科書第 7 章 (pp. 77～91) を読んで、わからない言葉を抽出しておく。
		事後学習	授業で明らかになった専門用語の意味について学習ノートにまとめておく。
第 15 回	論文課題「あなたが考えるよりよい療育実践について、事例にもとづいて論説しなさい」	事前学習	これまでに学んだことを振り返り、時間内に論文課題を終えられるよう考えをまとめておく。
		事後学習	第 1 回の時の理解と現在の理解度の違いを確認してみる。
15. 実務経験を有する 教員特記事項	養護学校（現 特別支援学校）の教諭経験を活かし、「7」に示す講義概要に則した講義を行う。		